

令和5年度社会福祉法人さやか事業計画書
(令和5年4月1日)

A：法人組織体制の整備

理事会

令和 05 年度理事会開催予定	
開催年月日	主な議事
第 1 回；令和 05 年 06 月 11 日(予定)	令和 04 年度事業報告書 令和 04 年度決算書 評議員選任・解任委員会の招集 評議員の推薦について 定時評議員会の召集
第 3 回；令和 05 年 06 月 25 日(予定)	理事長の選定、業務執行理事の選定
第 2 回；令和 06 年 03 月 10 日(予定)	令和 06 年度事業計画書 令和 06 年度予算書

評議員会

令和 5 年度評議員会開催予定	
開催年月日	主な議事
第 1 回；令和 05 年 06 月 25 日(予定) 定時評議員会	令和 04 年度事業報告書 令和 04 年度決算書 理事、監事の選任について
第 2 回；令和 06 年 03 月 24 日(予定)	令和 06 年度事業計画書 令和 06 年度予算書

評議員選任・解任委員会

令和 5 年度評議員選任・解任委員会開催予定	
開催年月日	主な議事
第 1 回；令和 05 年 06 月 25 日(予定)	評議員の選任について

広報活動

①「事業／活動報告」	毎月 01 日発行
------------	-----------

B：施設／事業

I. 就労継続支援 B 型事業所さやか工房(定員 20 名)の運営

管理者(施設長) ；上原京子 サービス管理責任者：上原京子 職 員；07 名(管理者・サービス管理責任者含) 利用者；18 名(04/01)

利用者支援

- ① 作業活動
- ② 生活自立

- ③ 余暇活動（毎週土曜日に実施）
- ④ 創作活動（自社製品作品）

職員

- * 障害者福祉施設職員としての自覚・資質の向上を図る。研修の実施。
- * 利用者指導・支援の一層の確立へ向け、ケース会議の充実化を図る。

保護者

- * サポート会議の充実
 - ・ 健康管理(生活習慣病の予防)について
 - ・ 生活/人生プランの設計について

II. 共同生活援助事業(さやかホーム)運営

管理者 ; 上原 京子 サービス管理責任者: 中村 陽子 職員 ; 09名(管理者・サービス管理責任者含) 共同生活住居/花束; 定員 03名、利用者 02名 共同生活住居/大地; 定員 03名、利用者 03名 共同生活住居/すばる; 定員 03名、利用者 03名

利用者支援

- ① 日常生活関連動作(掃除、洗濯、買物、食事等)、②健康管理
- ③ 金銭管理、④余暇活動、⑤相談援助、⑥共同生活習慣/規律に順応する支援。

職員

- * 障害者福祉施設職員としての自覚・資質の向上を図る。研修の実施。
- * ①各人の生活自立化へ向けた個別支援
- ②協同生活を通じた家族的仲間関係の確立
- 以上2点に基づいた利用者指導・支援へ向け、世話人活動の内容充実化を図る。

C: 学習/研究

成年後見制度について資料収集
施設外研修への参加

相談支援事業者初任者研修受講 1名予定
サービス管理責任者基礎研修受講 1名予定
虐待防止、人権擁護についての研修

施設内研修会の開催—成年後見制度

D: 虐待防止委員会

- * 年に4回開催予定

E 令和5年度年間スケジュール

04月	新年度式				
05月	日帰り旅行			防災訓練①	
06月			歯科検診		
07月			歯科治療	防災訓練②	
08月		夏期休暇(11~15)			
09月			健康診断①	防災訓練③	
10月	日帰り旅行				研修会①
11月				防災訓練④	
12月		冬期休暇(28~03)			
01月				防災訓練⑤	
02月					
03月	納会		健康診断②	防災訓練⑥	研修会②

～本年度の課題～

平成11年にさやか工房を開設して、今年は25年目を迎えます。さやかの第三次10年計画も後半に入り、「共に生きる、共に歩む」という私たちの理念を継承、体現できる組織体制を確立するという大きな課題を具体化させていきます。

この25年、社会も大きく変わり、障害者を取り巻く環境、利用者の生活、家族に大きな変化をもたらしました。法人設立当初から問題にしてきた、障害者の高齢化、親の高齢化は今まさに現実のものになっています。利用者も親も大きな不安のなかにいるということを直視しなければなりません。

昨今の感染症対策、福祉施設の虐待事件、安全管理の問題等々を考えると、福祉に携わるものとしての倫理、責任が問われていることを痛感します。

一人一人が大切にされ、みんなが幸せに生きることができるようになりたい、という開設当初の思いを原点にし、みんなが安心して日々の生活をおくることができるように、組織としての責任を果たしていきたいと考えています。

本年度の課題については以下5点にまとめました。

- 1 前年度からの継続として法人組織の世代交代、後継者作りを課題とします。

「共に生きる、共に歩む」というさやかの理念を継承、体現できる組織体制の確立を計画しています。

さやか工房については、令和4年度にサービス管理責任者の資格を取った職員をサービス管理責任者として育成します。

人権意識の高い、障害者の権利擁護を実践できる見識をもった職員を育てることを課題とし、計画的に職員研修を受けさせていきます。

- 2 さやかホームについて、一昨年度さやかホームすばるの新築工事が終わり、花東、大地、すばるの3棟の建て替えが完了しました。残る旧すばるの土地建物は第4のホームとして活用する予定です。利用希望者はいますが、利用開始時期についてはまだ具体的になっていません。引き続き、利用希望者の把握、建て替えの時期、資金計画など調査、検討していきます。
- 3 10代、20代、30代、40代、60代と、さやかの利用者の年齢層がひろがりました。それぞれにとって、健康管理、作業支援、生活支援の内容を検討し個別支援計画に反映させていきます。健康管理に重点をおき、利用者が健康で楽しい生活を送ることができるように支援をします。
- 4 親世代の高齢化に伴い、親亡き後の障害者の生活、支援のあり方が現実の問題意識になってきています。すでに成年後見制度を利用している利用者もおり、将来的な成年後見制度の利用は現実のものとなっています。成年後見制の学習を継続し、内容を深めていきます。
- 5 感染対策、危機管理、人権擁護・虐待防止に取り組み、利用者が安心できる生活を保障していきます。

さやかに集う障害者に寄り添っていきたいと思います。希望を持って進みたいと思います。

令和05年03月5日

